

【2月27日】 市指定無形民俗文化財  
**玉祥寺このみやおどり**

**約560年も続く民俗芸能**

玉祥寺区の春日神社境内で開催。女装した男性2人が太鼓を叩きながら踊る民俗芸能で、神の前で豊作を祈願する新春行事として伝わっています。男衆(踊り手)は、区民の唄に合わせて太鼓を叩きながら舞を披露しました。



1・4\_ 姉さんかぶりにたすきがけの女装の男衆(踊り手)。他の民俗芸能では見られない個性的ないでたち 2\_ 御大將は、どてらに編み笠、腰には頭陀袋、背中には杵を背負っている 3・5\_ 舞の出来栄えが良くないとやり直すことも



**区民総出で遷宮をお祝い**

赤星菅原神社で遷宮祭が行われました。赤星菅原神社(今宮)で神事を行った後、拝高天神(元宮)と神社を往復する御神幸行列を実施。元宮では神楽の奉納や餅まきが行われ、区民をはじめ関係者の人たちでにぎわいました。

【3月29日】 赤星菅原神社  
**25年に1度の遷宮祭**



1・6\_ 着飾った男衆が重ねた布団を背負った飾り馬を引き、赤星井手治いに集落内を進みながら歌を奉納 2・4\_ 子どもたちも御輿を担いで元気に参加。餅まきでは競いながらも笑顔で餅を拾う 3\_ 神事後、元宮まで神様を担いで里帰り。長い行列が続く 5\_ 元宮では地元保存会による神楽を奉納。弓や刀を持ち、勇ましい舞を披露した





## 2月19日 良質米づくり技術研修会 遠藤五一さんが技術指導

市の水稲栽培技術指導員を務める遠藤五一さん(山形県在住)を講師に招き、研修会を開催。農業関係者ら約60人が参加し、水稲施肥早見表や農事気象予測を用いた米づくりの説明、病害虫の防除の詳しい話を学びました。



講演をする遠藤さん(写真㊦)。産地銘柄米の試食会も実施。参加者は、普段食べている米との違いを感じていました



## 2月20日 菊池教育会第7回里仁賞表彰式 小中学生の善行をたたえて表彰

菊池教育会(坂本敏正会長)が菊池郡市の小中学生や団体の善行をたたえ表彰しました。市内からは旭志小学校高永地区児童会と菊池南中学校野球部が受賞。坂本会長は「今後も活動を続けてほしい」と笑顔を見せました。



菊池南中学校野球部2年の山下登阿さん(前列㊦から2番目)と高永地区児童会の芹川琥珀さん(前列1番㊦)



## 2月22～25日 第4回「プラチナ・森の学校きくち」 テーマは「菊池の未来市長」!

市内の中学校から39人が参加し、菊池少年自然の家で開催。2泊3日の合宿形式で、東大や熊大などの教授や大学生の指導により、グループ討議をしながら自力で解決策を検討。自由な発想によるアイデアに会場は盛り上がりました。



「菊池まるごとテーマパーク」構想や、防災力強化のための「逃げるばい革命」、「塾ごはん」など、さまざまな提案が出されました



## 2月19日 花房保育園 雛飾りを花房郵便局に展示

園児自作の雛飾りを花房郵便局に届けました。0・1歳児は壁掛け、2・3歳児はバッグ、4・5歳児はヨーグルトカップのリサイクル雛と、45人全員が手作りで作成。宮本浩高局長は「かわいいお雛様を毎年ありがとう」と話しました。



園児による雛飾りの展示は20年以上前から続いており、毎年の恒例行事になっています



## 2月20日 菊池女子高校 中央図書館で手話&ファッションショー

市では市内3高校の活性化を目指して、高校魅力化プロジェクトに取り組んでいます。菊池女子高校の3年生が、高校生活の集大成として、市内の皆さんに感謝の気持ちを伝えたいと企画。100人を越える来場者が見学に訪れました。



ドレスは生徒が約7カ月かけて自前で制作。手話は1年間学習してきた成果を披露。ショーの最後に、素敵な笑顔で自分の将来について語っていました



## 2月21日 短歌・俳句に親しむ 第14回万句のふるさと菊池表彰式

第21代菊池重朝公が行ったとされる「菊池万句」にちなみ、市教育委員会が毎年行っている「万句のふるさと菊池」の表彰式を七城公民館で実施。入選者のうち最優秀賞の児童生徒に表彰状と記念品が贈られました。



県内や姉妹・友好・交流都市の小中学生から、俳句7,660句、短歌1,673首、計9,333の作品が寄せられました



### 3月12日 花壇づくり講習会 泗水図書館前の花壇を美しく

特定非営利活動法人「本と人とのネット・泗水」が花壇づくり講習会を開催。泗水図書館前で花壇の作り方、維持管理について専門の講師に学びました。レンガの積み方や花の苗の植え方など正しい知識を学ぶことができました。



実践を交えながら全2回開催。色とりどりの美しい花々が植えられました

### 3月13日 県社会福祉功労者及び団体等知事表彰 宮本武夫さんが受賞

元菊池市民生委員児童委員協議会連合会会長の宮本武夫さん(正院町)が熊本県社会福祉功労者及び団体等知事表彰を受賞。宮本さんは菊池市民生委員児童委員を15年務め、地域福祉の推進に大きく貢献しました。



「今後も人と人とのつながりを大切に、地域のために自分のできることを協力していきたい」と語る宮本さん

### 3月17日 菊池広域消防本部西消防署で表彰式 初期消火協力者4人に感謝状を贈呈

1月に泗水町豊水で発生した建物火災で初期消火を行った4人に対し表彰式が行われ、感謝状が贈られました。吉井さんは「初めて消火器を使いました。消火器が近くにあったよかったです」と初期消火の大切さを話しました。



左から辻文明消防長、中尾祐二さん(薬師)、中山美人子さん(薬師)、吉井数美さん(田吹)、野口俊浩菊池広域連合西消防署長。徳田光咲さん(薬師)は都合により欠席されました

### 3月11日 菊池市防災士養成講座 市内最年少防災士が誕生

「菊池市防災士養成講座」に当時小学6年生(12歳)の山口優陽さんが見事合格。山口さんは「第一に自分の命を守る行動をとり、次に周りの人を助けることができるようになります」と意気込みを語りました。



12歳での防災士登録は、県内でも最年少タイ記録です

### 3月13日 株式会社中セキ九州 コイン精米機を寄贈

精米したてのお米を手軽に楽しんでもらえるようにと、(株)中セキ九州が市にコンパクト型コイン精米機1台を寄贈。村瀬武志社長は「精米具合も6段階に選択可能。食べ比べて自分の好みを見つけてください」と話しました。



④から村瀬武志社長、江頭美市長、松本伸二常務取締役。寄贈されたコイン精米機は、さくち観光物産館に設置しています

### 3月16日 KDSグループ 子どもたちを交通事故から守ろう

KDSグループが、市内小学校の新入生へ「KDSゆるや傘キッズバージョン」約450本を贈呈しました。雨天時に子どもたちを事故から守ることを目的に開催しており今年で7回目。本市のほかにも県内市町村へ約1万本贈呈しています。



永田佳子代表取締役④は「この傘でドライバーの思いやり運転、ゆっくり運転の意識が高まってほしい」と話しました





2月25日 春の「城山の日」事前作業  
清掃ボランティア活動

毎年、菊池公園で行われる「城山の日」を前に、菊池市建設業協会、菊池市造園業組合、NPO法人菊池公園歴史の森の皆さんが周辺の整備を実施。除草や剪定作業のおかげで、一帯が散策しやすくなりました。



菊池一族にゆかりのある雲上宮付近の整備。15人で作業を行いました



2月23日 九州・中国地方の大学が合同合宿  
菊池から世界に羽ばたけ

竜門ダムの班蛇口湖ボート場で、大学合同のボート競技合宿がありました。山口、佐賀、福岡、熊本の9大学のボート部で合同練習することで、強化・普及・親睦を深めることを目的に開催され、約120人が参加しました。



参加した学生は「他大学と一緒に練習する機会がめったにないので、とても刺激になる」と語りました



3月3日 富田甚平翁の顕彰碑を清掃  
地元の偉人をもう一度学びきっかけに

七城町台区の有志で富田甚平翁の顕彰碑を清掃しました。この日は甚平の命日で、12人が参加。富田龍二区長は「改めて郷土の偉人を学ぶ良い機会になった。続けていくことができれば」と笑顔を見せました。



富田甚平は湿田を乾田化する「富田式暗渠排水技術」を開発し、美田を生み出しました



2月29日 ラブベンチデザインコンペ2019  
景色をふたり占めするベンチが完成

菊池公園城山展望所にグランプリ作品が設置されました。設計した緒方胤浩さんは杉本美貴九州大学准教授とデザインの改良を進め、「景色をふたり占めする」というコンセプトを表現。「菊池千本槍」にも着目した菊池らしい作品です。



展望所からは眼下に隈府の街並みが広がり、天気の良い日には金峰山や雲仙などの山々も眺めることができます



3月10日 熊本県トラック協会  
交通安全用品を市内の小中学生に贈呈

県トラック協会菊池支部(藤木徳昭支部長)が市内の小中学生に反射材付き巾着袋を贈呈。同会が社会貢献事業として毎年実施し、今年で11回目。下川公一郎副支部長は「これから明るい学校生活を送ってほしい」と話しました。



目録と巾着袋を受け取る田上浩輝教育事務所長(中央)と下川副支部長(左)、内田智三副支部長(右)



3月7日 隈府中央通りに台湾料理屋がオープン  
人が集うまちにしたい

市主催のまちづくり人材育成講座「フューチャーラボ KIKUCHI」の卒業生、坪井美紀さん(栄町)が中央通りに台湾料理の店「SUMI」を開業。地元へ貢献したいとの思いから、試行錯誤を繰り返しオープンに至りました。



「菊池の皆さんが集うきっかけの一つになってくれれば」と開業への思いを話す坪井さん



**3月24日 JA菊池花き部会**  
**小学校卒業生に花束**

地元で生産されたカスミソウやトルコギキョウなどの花を市内の小学校卒業生429人に贈呈。イベントや会合が自粛され、花の需要が落ち込む中、本市の緊急対策支援事業を活用してJA菊池が企画しました。



花束を持つ子どもたち。JA菊池花き部会の上田功さん(南古閑)は「子どもたちが喜んでくれて嬉しい」と話しました

**3月23日 菊池御膳**  
**菊池の魅力を食で発信**

菊池で事業をしている飲食店・旅館・生産者が、菊池の春の魅力を食で伝えようと企画。江頭実市長に完成したお弁当の報告をしました。今後は他事業者とも協力して、季節ごとのお弁当を名物にしていきたいと考えているそうです。



企画したメンバー。④から城佐和子さん、野田哲詩さん、⑥から中山繁雄さん、高木恵美さん、亀崎修一さん。梅田雄二さんは欠席

**3月31日 つまごめ荘引継ぎ式**  
**新たなるスタート**

市特別養護老人ホームつまごめ荘が4月1日に民営化するための引継ぎ式を実施。江頭実市長が社会福祉法人東康会の山田純策理事長へ目録を手渡し、これからのつまごめ荘の運営をお願いしました。



山田理事長⑥は「これまでの菊池市民の信頼を引き継いで、地域に貢献していきたい」と決意を述べました

**3月30日 感謝状贈呈**  
**校長先生へ感謝を込めて**

市内の小中学校を3月に退職した校長先生に感謝状が贈られ、市役所で贈呈式が行われました。永年にわたる教育の充実、振興への尽力と、本市の児童生徒の学力、教育環境の向上に多大な貢献をしたことへの感謝を表すものです。



前列⑥から岩根俊治さん(旭志中)、緒方登志子さん(泗水小)、川上繁美さん(花房小)、後列⑥から桐陽介さん(七城中)、鶴田義晃さん(菊池北中)、中林義徳さん(七城小)、藤江房行さん(菊池北小)

**4月7日 人権擁護委員退任感謝状伝達式**  
**功績をたたえて法務大臣から感謝状**

人権擁護委員として人権相談や福祉施設への訪問などの人権啓発活動に携わった永田源彦さん(永)と石原克子さん(今)が、4月1日付けで人権擁護委員を退任。法務大臣から感謝状が贈呈されました。



石原さん(⑥から2人目)は、2期6年。永田さん(中央)は、2期6年3カ月、人権擁護委員を務めました

**4月7日 菊池地区交通安全協会**  
**交通事故のない登下校を願って**

菊池地区交通安全協会(緒方宣治会長)が市内の新小学1年生に反射レッスンバッグを寄贈。登下校中の子どもの安全を守ることを目的に毎年実施。バッグは市内の新小学1年生、約450人に贈られました。



バッグを受け取る渡邊和博教育長⑥。緒方会長⑥は「安全を守るために活用してほしい」と話しました